

こまどりケーブルからローカルな話題や
エリア情報などをお届けします



ほたるのゆうべ

奈良県南部のこまどりエリアには、自然が多く残り、幻想的な螢を鑑賞できる処が点在しています。夏の風物詩、優い螢の光を愛でて、風情ある夏の夜を過ごしてみませんか。

御杖村



御杖村の螢についてのお問い合わせ

御杖村役場むらづくり振興課

☎ 0745-95-2001

<http://www.vill.mitsue.nara.jp/kanko/>

奈良県と三重県の県境に位置する御杖村は豊富な水量に恵まれている上に、場所的に都会の光害の影響も少なく、螢の観賞に適しています。6月上旬から7月上旬にかけては清流のあちこちで螢が飛び交い、のどかな里山風景の夕べを幻想的に彩ります。毎年6月下旬には、螢観賞スポットへ専用バスで案内する螢観賞会も開催されます。道の駅「伊勢本街道 御杖」から無料シャトルバスで観賞地に送迎してもらえるので、初めての方は観賞会に参加するのが安心ですね。

歩きやすい靴と足下を照らすための懐中電灯をお忘れなく！

螢観賞のポイント&マナー

●月の出でない風の弱い蒸し暑い夜がチャンス！
活発に飛び回るのは、午後8～9時
夜遅くなると動きが鈍くなる

●螢は強い光や大きな物音が嫌い
螢が逃げるのはもちろん近隣住民
への迷惑にもなるのでNG！

●螢が成虫となって空を
飛べるのは、わずか
1～2週間
捕まえて持って帰る
のは厳禁

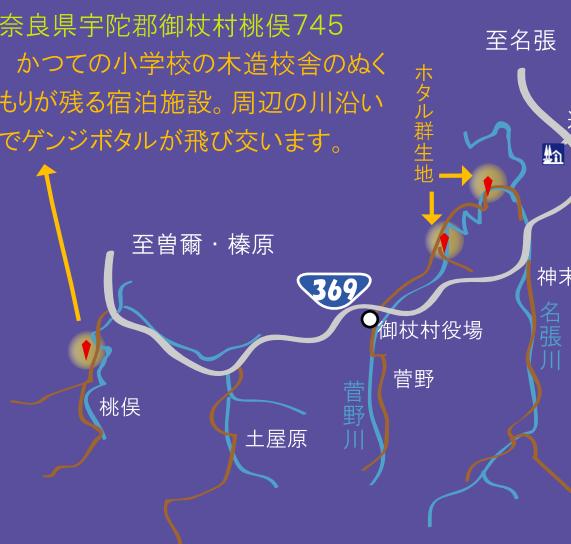


●三季館(駐車場有り)

奈良県宇陀郡御杖村桃俣745

かつての小学校の木造校舎のぬくもりが残る宿泊施設。周辺の川沿いでゲンジボタルが飛び交います。

●村内の名張川や、その支流である菅野川で6月下旬頃、多くのゲンジボタルを見ることができます。



●丸山公園(駐車場有り)
奈良県宇陀郡御杖村神末3599
公園沿いの休耕地や小川でゲンジボタルやヘイケボタルが飛び交います。春には、樹齢100年を超える山桜が丘を桜色に染め上げる御杖村の桜の名所です。



宇陀市

蛍観賞地で有名な宇陀市では、6月中旬から7月上旬頃に市内全域で蛍が見られます。特に街灯の少ない室生川流域や、大宇陀の阿紀神社周辺、宇陀川沿い、菟田野の菟田野ほたる公園、芳野川上流でも多くの蛍の飛翔が見られます。



菟田野ほたる公園

宇陀市菟田野下芳野1283-1外



室生寺周辺 ホタル街道

室生川の流域は昔からゲンジボタルが多く生息していて、「ホタル街道」と呼ばれています。特に室生寺から室生龍穴神社付近は、乱舞が期待できる場所として人気の蛍鑑賞地域です。



蛍&薪能で 幽玄の世界へ

全国的にも知られる舞台「あきの螢能」は、舞台のクライマックスに舞台袖で放たれる数百匹の蛍が、空に舞い上がる様が幻想的です。
開催場所:阿紀神社能舞台
当日券 販売あり

宇陀市の蛍についてのお問い合わせ

宇陀市農林商工部商工観光課

0745-82-2457

<http://www.city.uda.nara.jp/index.html>



蛍公園

かづら橋

入口にある蛍公園には、青蓮寺川に

人道の吊り橋「かづら橋」がかかり、蛍の名所として知られています。トイレもありゆっくりと蛍を鑑賞することができます。この橋は東海自然歩道の道中にあり、曾爾高原へとつながっています。

曾爾村の蛍についてのお問い合わせ

曾爾村企画課観光係

0745-94-2106

<https://sonimura.com/>

蛍の不思議

いつまでも眺めていたい蛍の光。じっと見つめていると、不思議なことに多くの蛍が同時に点滅しているのに気づきます。これは「集団同期明滅」という特異なもので、夕方になると最初はそれぞれに点滅発光はじめ、時間が経つにつれて大きな集団でシンクロ(同期)し、活動が終わる深夜になると乱れるそうです。また、光る間隔が地域によって違うこともわかつてきました。気温などの条件によって一概には言えないそうですが、ゲンジボタルの場合、関西がおよそ2秒、関東が4秒です。関西人と同じく蛍もせっかちなのでしょうか?このように蛍の発光パターンはとても複雑で、現在のところ詳しいことは解明されていないそうですが、科学的に見ても蛍の光には「 $1/f$ ゆらぎ」があり、 α 波を増大させて心をリラックスさせてくれることは立証されているとか。遙か昔から日本人の心を癒してくれた蛍を、これからも守っていける環境でありたいですね。せっかく蛍を見に行ったのに蛍の活動が鈍かった時は、ちょっと夜空を見上げてみてください。そこには宝石をちりばめたような満天の星。蛍スポットならきっと夜空の蛍を満喫できますよ! 

こまちゃんがうがう
ひく

